



第 34 号

発行  
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地  
電話 (0545) 55 - 2852  
E-mail : Fujishisyoboudan  
@ex.city.fuji.shizuoka.jp

## 消防団長挨拶

### これからの消防団活動

富士市消防団長 中村 秀明



令和五年四月一日をもって富士市消防団長を拝命し、早いもので一年が過ぎようとしております。消防団だよりの発行にあたり、御挨拶申し上げます。

まずもって、消防団員の皆様、御家族や職場の皆様におかれましては、日頃から消防団活動に御理解と御協力をいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

さて、これからの当市消防団の活動であります。地域住民との密接なコミュニケーションや情報共有を大切にするとともに、消防団員個々のスキルアップを目指してまいります。また、団員の皆様におかれましては、個々が得意とする分野を消防団での活動に活かし、更には、消防活動技術のより一層の向上に努めていただくことをお願いいたします。

消防団の役割として、火災時の消火活動、大規模災害時の初動救助活動など地域の安心安全を守る重要な任務を任されていると認識しております。

来年度は、個々の団員が、確実に自己の役割を果たせるよう、小型ポンプ・ポンプ車操作講習、救命講習及び災害時の初動対応の講習等を積極的に実施してまいります。

消防団員が地域のリーダーとして活躍できるよう、私自身も防火防災対応に万全を期し、日々尽力してまいります。

市民の皆様におかれましては、共助の精神を忘れずに、団員と共に地域の安心安全を守ってまいりますことをお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様と消防団員の御健勝御多幸と益々のご活躍をお祈り申し上げ、私からの挨拶といたします。



市長賞「構えに隙なし」



令和5年  
出初式  
写真コンテスト



議長賞「ドアに写り込む」



消防団長賞「意気込み」



消防長賞「夢は、消防士」



防火協会賞「分列行進」

# 新入団員

## 第1方面隊



熊倉貴広



伊藤克彦



大村正憲



## 第2方面隊



渡邊佑磨



中村天一



宮崎領真



勝亦勇太

## 第3方面隊



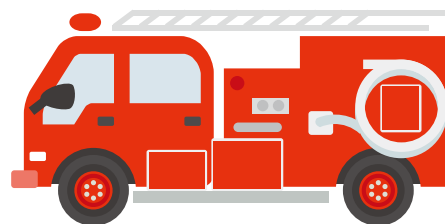
伊藤春香



大木扶美子



二ノ宮 佑



## 第4方面隊



桑原 修



瀧瑛太郎



辻賢人



酒井輝夫



石川達規



川畑 覚

## 第5方面隊



中道淳郎

## 第6方面隊



河野奨平



加賀美麗偉



望月恵里

## 第7方面隊



望月健介

# 富士市消防団は 31の分団があります。



消防団には地域ごとに7つの方面隊に分かれています。  
あなたのお住まいの地域やお勤め先は何分団が守っているのか？  
ぜひこの機会に地域の消防団について理解を深めてみましょう！

## 第1方面隊

所属分団: 第1・2・3・25分団 管轄地区: 吉原・伝法・広見・青葉台  
消防車台数: 5台 最寄り消防署: 中央消防署、大淵分署

## 第37回消防まつり

第25分団 部長 鈴木 信一

令和5年11月12日曇り空のなか富士市中央公園にて開催されました。

昭和46年「全日空と自衛隊の衝突事故」をきっかけに、富士市と雫石町の平成25年「災害時相互応援協定」締結及び「友好都市提携」から10周年を祝い、岩手県雫石町消防団員の来賓及び物産品販売がおこなわれました。

今回初の富士宮市消防団梯操隊による梯子演目など、各ブースや子供達の演目、消防救急車両の展示により盛況となりました。



## 消防と防災

第25分団 団員 小野 泰正

ご近所の分団長に誘われたことから消防団に入り、訓練をし、火事の際にはスイッチが入ったように駆けつけ、地域の安全を守る活動をしている充実感がありました。市議会議員になってからは火災対応だけでなく、消防団は地域の防災の要なんだと考えています。豪雨災害に対応するためにも地域防災力の向上が急務です。防災力はまちの総合力です。要である消防団活動を今後も頑張っていきます。



## 第2方面隊

所属分団:第4・5・6・7・12分団 管轄地区:今泉・原田・富士見台・神戸・青葉台・大淵  
消防車台数:5台 最寄り消防署:中央消防署、富士見台分署、大淵分署

### 新入団員としての抱負

第7分団 団員 中村 天一

私が、消防団へ入団させて頂いたきっかけは、父親の影響です。

私の父は現消防団長であり、私が生まれる前から消防団員として地域に貢献してまいりました。

私はそんな父の背中を幼いころから見てきて、すごいな、カッコいいな、こんな人間になりたいなと思っていました。

そんな父から消防団に入ってみないか？と言われ入団することを決意しました。

入団してからは、7分団の先輩方から色々教えて頂き、とても楽しく参加できています。今後も、訓練などで多くを学びながら少しでも地域に貢献したいと思っています。

そしていつか、父のような消防団員になりたいです。



### 伝統ある大淵消防団

第12分団 団員 杉山 知之

私たち、12分団は、富士山から一番近い大淵地区を管轄しています。

詰所は、私が生まれた年に完成し35年以上の長い歴史があります。歴代の先輩方が伝統を築いてきた詰所を維持する為に、植木などの剪定などを自分たちで行い環境美化に努めています。

そんな中、活動を富士市消防団の公式Instagramを見て知って若い団員が自ら入団して、防火活動に取り組んでいます。

全団員が優しく、楽しいアットホームな分団です。



## 第3方面隊

所属分団:第8・9・10・11分団 管轄地区:吉永・須津・浮島・元吉原・吉永北  
消防車台数:4台 最寄り消防署:吉永分署、臨港分署

### 吉永青空フェスティバル

第8分団 班長 菊池 勇輝

5月28日(日)比奈公園で第28回吉永ふれあいコンサート青空フェスティバルが開催され、我々8分団も参加させていただきました。「消防団に興味を持ってもらうこと」「消防団の活動に接してもらうこと」を念頭に、皆さんに楽しんでもらうためのイベントを行うことにしました。消防服を着て消防車との記念撮影や水消火器を使用して消火器の使い方を学んでもらうコーナーが人気となりました。当ブースにご来場いただきました皆さんが笑顔で我々8分団と楽しみながらコミュニケーションをとっていただいたこと、本当にありがたく、うれしい気持ちです。このような地域のイベントを通じて、今後もより吉永地区の皆様へ消防団の活動をご理解いただけたらと思います。



### 普通救命講習

第11分団 団員 山本 昭敏

私は応急手当普及員になって、7年が経ちます。救命講習を受講する立場から教授する側になり、人に伝える事の難しさを講習の度に実感しています。

普通救命講習は、心肺蘇生法・AEDの使用法・気道異物除去法を市民の皆様へ習得して頂く講習となります。昨今はいつ、自然災害・交通事故等の不測の事態に遭遇するか分かりません。

その様な時に勇気ある一歩を踏み出せる様、一人でも多くの方に救命講習の知識を身に付けて頂きたいです。私達応急手当普及員も常に知識・技術の向上に努め、市民の皆様が受講しやすい講習を行って参ります。



## 第4方面隊

所属分団:第13・14・15・19・20分団 管轄地区:富士駅北1・2、富士北、岩松、岩松北  
消防車台数:5台 最寄り消防署:西消防署

### 家族のため・地域のため

第13分団 団員 服部 英之

新型コロナウイルスの蔓延から約4年が経ちました。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がったことで全てが蔓延する前の生活に戻るような報道もありましたが、実際には生活の所々が変わったまま変化がありません。

ですので私は、家族と地域の安全を常に考え、自分達の街は自分達で守る!

盛り上げる!を念頭に置き、少しでも地域の皆様が安心して過ごせる街になれるように、消防団活動に積極的に参加をしています。

消防団の活動は火災予防だけではなく地域との関わりもあり、街全体を支えていく「縁の下の力持ち」だと思っています。

消防団の活動が無い休みの日には家族で過ごすことを第1優先として、家族みんなで出掛けたり、地域のイベントに参加をしたり、家族や地域の皆様の笑顔を見る事をとっても楽しみにしています。

これからも、家族のため地域のために、消防団活動や地域のイベントに積極的に関わって行きたいと思っています。



### 家族での初の野球観戦

第15分団 団員 鈴木大二郎

新型コロナウイルスの流行が始まってから約4年が経過し、徐々にコロナ前の生活環境が戻ってきています。

プロ野球観戦では今年から声を出しての応援が解禁されたということで、息子たちも連れて家族で初めてのプロ野球観戦に行ってきました。試合が始まると良いプレーが出るたびに歓声を上げ、見ず知らずの隣の席のファンとハイタッチするなど全力で選手を応援する光景が戻っていました。

我が家には3人の息子たちがいますが、生まれてからほとんどの時間をコロナ禍として過ごしてきたため大勢の人たちと一緒に楽しむという機会がありませんでしたが、今回の旅行を通じて、野球のルールは分からなくても大勢の人たちと一緒に楽しむとはどういうことかが伝わったと思います。

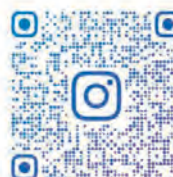
コロナ禍が常識になってしまっている子どもたちに、こうして少しずつでも以前の日常を伝えていければと思います。今後も家族で一生懸命楽しむことができるように、消防団活動を通じて地域のため家族のために精一杯貢献していきたいと思っています。



富士市シティプロモーションキャラクター  
さもにゃん

消防団員募集中だにゃ!  
Instagramのフォローも  
よろしくだにゃ!

Instagram



@FUJISHISYOBUDAN

入団申請用QR



## 第5方面隊

所属分団: 第16・17・18・26分団  
管轄地区: 富士駅南、田子浦、富士南

消防車台数: 4台

最寄り消防署: 南分署

### 方面隊長

第16分団 団員 外山 晃博

私が消防団へ入団したばかりの頃、方面隊長といえば偉い人、すごい人という印象でした。その方面隊長に自分になるとは思ってもいませんでした。たぶん私を知る周りの方もそう思っていたでしょう。

その方面隊長として1年が経とうとしています。今思うことは、方面隊長は偉い人でもすごい人でもないということです。ただ、その責任の重さは十分に理解しています。

消防団は市民の生命、財産を守ることが使命です。そして、その団員を守ることが私の使命だと思っています。訓練や火災出場等の後、団員を無事に家族の元へ帰すことが私の責任です。そのことを忘れず、方面隊長として活動していきます。



### 富士山女子駅伝警備

第26分団 班長 鈴木 智亮

市内で年末の恒例行事となっている富士山女子駅伝が今年も開催され、私たち消防団も例年通り警備として参加させていただきました。

私たち26分団の担当区域は富士川堤防沿いで、昨年まではコロナの影響で自粛された方も多かったのか、応援の方も少なかったのですが、規制が緩和されたこともあり、沿道に大勢の方が来られて久しぶりに賑やかな現場となりました。

観客が多いということは、警備もより強化する必要がある為、走者が無事に通過できるよう参集した団員で事前に役割・段取りを決め、当日に備えました。

先頭集団が近づくとつれ、声援も大きくなり、直接見て応援したい気持ちを抑えて、皆で警備にあたり、その後全ての走者が無事に通過し、撤収作業を行い解散となりました。

背中越しでしか様子を伺うことができませんが、チームの為に、必死で頑張る選手を間近に感じることで元気をもらえます。

来年以降も警備要請がある限り、極力参加していきたいと思っています。



## 第6方面隊

所属分団: 第21・22・23・24分団  
消防車台数: 4台

管轄地区: 鷹岡、天間、丘  
最寄り消防署: 鷹岡分署

### 「消防団員の休日」

第24分団 部長 桐生 将勝

皆さんは、休日をどのように過ごしていますか？

私は「車」「バイク」「温泉」「音楽」が趣味の大半を占めていて、平日の仕事で溜まった疲れやストレス発散の為に、休日にはその時の気分で車、バイクを選び、日帰り温泉を堪能しに出掛けます。

天気の良い日に、道中好きな音楽を聴きながら自然の中をのんびり走り、時にはワインディングを駆け抜け、その土地の美味しいモノを食べ、のんびり温泉に浸る…この非日常感や開放感が、溜まった疲れやストレスを解き放ってくれます！…が、消防団員の性！(笑)途中、消防車両を見かけたり、サイレンを聞くと身体が反応してしまい、気になって仕方がない場面に出くわす事が多々あります。

また、「応急手当普及員」資格を持つ私は、万が一出先で不測の事態に遭遇した場合、自身が即座に対処しなければ！という使命感が自身の意識のどこかに常に根付いています。

不測の事態、有事、災害がいつどこで起きるか分かりません。

地元では勿論の事、外出先においても消防団員である事を常に意識し誇りに思い、いざという時に日頃の訓練知識や経験をいつでも発揮出来る様、備えていようと思っています。



### 消防団の団結力の強さを感じたプール掃除

鷹岡小学校PTA会長  
日高 綾子

鷹岡小学校では、毎年プール開きの前に、6年生と先生達でプール掃除をしていました。どんなに気をつけていても、滑って転ぶ子がいたり、安全確保が大変でした。今年はPTAの奉仕作業で、大人達でのプール掃除を放水し行うことになりました。

分団長をはじめ消防団の方の団結力は素晴らしく、多くの団員の方が集まってくださいました。当日、道路にある消火栓を使用させて頂いたのですが、車の往来に支障が出ない様配慮して頂き、私達は放水の様子を見せて頂きながら、その水を利用し掃除をすることが出来ました。藻が落ちたプールは、滑る事なく安心して掃除でき、最後は消防団の方も一緒にブラシ掛けを手伝って頂き、とてもスムーズに汚れたプールを綺麗にする事が出来ました。

何より、子供達が綺麗なプールで授業を楽しむことができた事、本当に感謝しかありません。

団結力が強い消防団の皆さんの姿勢は、私たちにも大きな刺激を与えてくれました。鷹岡に皆さんの様な消防団が居てくださる事は、私達の誇りだと思います。消防団の皆さん、本当にありがとうございました。





## 第7方面隊

所属分団: 第27・28・29・30・31分団  
南松野、北松野 消防車台数: 5台管轄地区: 中之郷、岩淵、木島、  
最寄り消防署: 富士川分署

## 普通救命講習を受けて

富士市立富士川第一中学校 三年 佐々木ひなこ

私は先日の普通救命講習で、学校の授業だけでは学べない実技的なことを教えていただきました。

人工呼吸の時の気道確保の角度や、AEDを使うときに身につけている物を確認するなど、細かいことまで練習することができました。また、私たちの質問にもたくさん答えていただき、より深い知識を得られました。私たちの一つ一つの行動が、その人を助けられるかどうか直結するのだということを知りました。

この講習のような貴重な経験を逃さず学び続けて、誰かが倒れた時に真っ先に動けるような人間になりたいです。



## 指導員になって

第27分団 班長 中原 孝宣

今年3月に分団長から、前任者の方が家庭の事情で指導員を続けることが出来なくなってしまったとのことで、指導員をお願いしたいと要請がありました。最初は自分にはこの役職は無理ではないかと不安の中、引き受けました。

活動は基本動作訓練が中心で、ポンプ操作・ホースの巻き方等、改めて勉強させられ、自分にとって必要性を感じました。教えられた事を生かしつつ、分団では団員と一緒に考えて、自分に与えられた業務に真剣に取り組んでいます。また、昔ながらの押しつけ型の指導をすると団員の士気が下がり良い方向にいかないの、皆さんの意見を取り入れて上手く潤滑するように心がけています。

指導員の責任者の方はとても親切で、新人指導員の教育にご尽力頂き感謝しております。今後とも活動を続けていきたいと思っております。



# FUJI RED FAIRY

## カラーガード隊 隊員募集中

連絡先

富士市消防本部消防総務課  
☎0545-55-2851

興味がある方、見学希望の方はぜひお気軽にお問い合わせください。

## 静岡県女性消防団員研修会

第16分団 団員

女性消防団員連絡協議会副会長  
桑原 裕子

7月9日、消防学校にて「静岡県女性消防団員研修会」が行われ、県内の女性消防団員と共に受講しました。

午前中は安全管理として危険予知訓練について学び、各班に分かれ実際に危険予知について考えました。自分や仲間、救助者を守る為に普段から意識して生活をするのが大切だと思いました。

午後からは災害活動訓練が行われました。

同訓練ではまず火災の性状についてピーカーやドールハウスを使い、実際に燃える様子を見せて頂きながら火災がどのように広がるかなどを学びました。

その後、放水体験が行われ放水方法、姿勢などについて実際に放水しながら指導を受けました。

消防職員を指導されている消防学校の教官からご指導頂くとても貴重な研修でした。この研修で学んだことを活かして、地域の皆様と共に防火・防災に備えて参りたいです。



## おしらせ

昨年度、富士宮市消防団の女性団員の方たちと、「消防団PRグッズ」としてエコバッグを作成しましたが、令和5年度は、ミニタオルが出来上がりました！富士支部（富士市・富士宮市）という交流の中で生まれたこのグッズ。富士市シティプロモーションキャラクターの【さもにゃん】が消防団員と同じ格好をしてくれています。キリっとした消防さもにゃんがかっこいいです！

となりは、富士宮市の【さくやちゃん】です！

消防団のイベントはもちろん、その他のイベントでも、消防団を知っていただくため配布しています、ぜひゲットしてくださいね！（^▽^）/



# 活動紹介

▼ 機関員講習



▼ 消防演習



▼ 消防署合同訓練



▼ 新入団員教育



▼ 図上訓練



▼ 方面隊訓練



▼ 誘導訓練



▼ 防災訓練



▼ 広報活動



▼ 23分団車両更新



▼ 滋賀県大津市視察



▼ 町内広報活動



▼ ふじさんメッセ広報活動



▼ 富士イオン広報活動



▼ 北翔まつり



▼ きっさこまつり



▼ 毘沙門天安全祈願祭



令和4年度 消防庁長官表彰受章者



はやぶさ かずひろ  
早房 一裕

職：副団長  
出身分団所在地：第1分団 吉原・伝法地区  
消防歴：34年10月



ふじた みちのぶ  
藤田 道信

職：分団長  
出身分団所在地：第12分団 大淵地区  
消防歴：37年11月

富士市消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所や、水・火災等の災害時に事業所の資機材を消防団に提供する等の協力をするなど、消防団活動に積極的に協力している事業所その他の団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付します。

また、認定を受けた事業所は、取得した消防団協力事業所表示証を敷地、建物等に表示できる他、パンフレット、チラシ、事業所ウェブサイト等にてPRすることができ、事業所のイメージアップにもつながります。



富士市消防団協力事業所の紹介

令和6年1月1日現在

1 田中豊工業	12 有限会社 飯田電設	23 和田建設株式会社	34 株式会社一商会
2 合資会社 堀野紙工	13 株式会社 西尾組	24 株式会社 イチエイ	35 有限会社 アカイケ家電
3 有限会社 増田製袋	14 株式会社 佐野総業	25 有限会社 三浦電気	36 富士信用金庫
4 三晃堂鍼灸治療院	15 遠藤建設株式会社	26 有限会社 秋山配管工業所	37 大久保電気工事
5 株式会社 大善工務店	16 株式会社 富士の国 渡邊農園	27 松本工業株式会社	38 株式会社 翔栄電気
6 有限会社 池田自動車工業	17 サンコー防災株式会社	28 junprogresso(ジュンプログレッシブ)	39 認定こども園曙幼稚園
7 山本土建	18 税理士法人IBS富士事務所	29 株式会社YOSHIKAN	40 株式会社 仲神設備
8 桑原左官工業	19 株式会社 加々美	30 ナーセリーイデ	41 さとう産業株式会社
9 静岡日野自動車株式会社 富士営業所	20 株式会社 司技研	31 佐野文彦(不動産業)	42 ふじさんあおぞら株式会社
10 シンセア環境サービス株式会社	21 有限会社 ヤザキ総合エクステリア	32 有限会社 佐野自動車工業	
11 有限会社 大塚技研 第2工場	22 株式会社 プレーン	33 株式会社伊藤電気	※登録順

編集後記

消防団だよりを発行するにあたり、団員及び、団員ご家族様、また関係団体の方々には多数の寄稿をいただき厚く御礼申し上げます。

そして日頃の消防団活動に対し、多大なご理解、ご協力を賜りこの場をお借りして感謝申し上げます。

我々消防団は地域密着型の防災組織として、今後起こりうる大災害に対応出来る様、これからも日々の訓練に励み、益々多様化する災害に対し、迅速かつ適切に対処できる知識と技術の習得に努めて参ります。

結びにこの消防団だよりが団員各位の意識高揚とさらなる団結心が養われる事を祈念すると共に、団員確保に向けた取り組みに繋がる事が出来る様、これからも紙面作りにも努力して参ります。

今後ともご支援ご協力の程よろしくお願ひいたします。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

団本部	第7方面隊長	杉尾 雄司
団本部	総務部長	鈴木 秀夫
団本部	副総務部長	天野 貴之
第25分団	部 長	鈴木 信一
第4分団	団 員	佐野 正明
第8分団	団 員	中西 幸一郎
第13分団	部 長	福島 耕一郎
第26分団	班 長	鈴木 智亮
第23分団	班 長	遠藤 孝浩
第31分団	団 員	佐田 広明
第9分団	団 員	杉山 文香
第28分団	部 長	大久保 規子